

## II ハイリスク児の発達チェック方法に関する研究

### 総 括

前川 喜平\*

#### 〔研究目的〕

乳幼児の健康診査，保健指導などにおける発達の評価，指導の充実を計るため，ハイリスク児の発達チェック方法を検討しガイドブックを作成しその有効性を検討する。

#### 〔研究方法〕

NICUに収容された新生児，大学病院NICUに収容された新生児，療育機関に紹介されたリスク児，保健所における乳幼児健診で発見されたリスク児などのハイリスク児についての発達フォローアップを，RetrospectiveならびProspectiveにおこないそれらの結果と現在までの文献的考察をもとにして，ハイリスク児の発達チェックのガイドブックを作成しその有効性を検討する。

#### 〔平成元年度研究概要〕

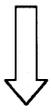
ハイリスク児の定義については，文献的考察を基にして乳幼児健診におけるハイリスク児の定義についての検討を行った。その結果，母子手帳より情報を得られる，在胎週数，出生体重，在院日数を基にして，ハイリスク児判定の表を作成することにした。

次に協力班員の現在までの資料を基にして，保健所，大学，療育機関のハイリスク児並びにNICUに収容された新生児のretrospective follow upの結果を纏めた。この結果を基にして，「リスク児の発達チェックガイドブック」を作成する予定であるが，リスク児のprospective発達の研究として共通のプロトコールを作成し，それに基づいて多施設においてリスク児のprospective studyを行うことを決定した。プロトコールについては，平成2年4月に行われる第2年度研究会迄には作成する予定である。なお，NICUのMassのprospective studyと平行して，心理，言語，社会，認知，神経発達など多方面よりの少人数のprospective studyも行う予定である。

リスク児の現在までの海外，国内文献については低出生体重児については以下の分担で検索を行った。膨大な資料を作成したが，これについては我が班で纏めて別に印刷する予定である。

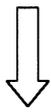
	外国文献	国内文献
昭和35～45年	前 川	横 井
昭和46～54年	前 川	青 木
昭和55年～	松 石	大 野

\*慈恵医大小児科



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



[研究目的]乳幼児の健康診査,保健指導などにおける発達の評価,指導の充実を計るため,ハイリスク児の発達チェック方法を検討しガイドブックを作成しその有効性を検討する。